

授業展開例（学級活動）

1 校種・学年 小学校 第4学年・第5学年

2 議題 「6年生を送る会を成功させよう」

3 議題について

（1）児童の実態

本校では、月1回、朝会の時間に全校による代表委員会会議（以下、会議とする）を開催している。進行は、児童会の企画委員会（6年）が行う。会議では、生活目標の伝達（企画委員会）・生活目標の反省（各学級）・委員会からのお知らせ・みんなから（考えてほしいこと等）が話し合われる。生活目標は、企画委員が、その時の児童の実態から目標を考え、全校児童に伝えている。その目標が達成できるように各学級で取り組み、月末の会議で各学級から反省と課題を出し合っている。

今年度「会議拡大版」として1時間を充て「運動会のテーマを決めよう」「地域まつりのテーマを決めよう」を全校で行った。4年生・5年生は、企画委員会ではなかったが、各自がよいと思ったテーマについて理由をつけて発言したり、意見を出し合ったりした。6年生の司会などの役割を見聞きして、進め方の雰囲気をつかんでいると思われる。「地域まつりのテーマを決めよう」では、友だちの発言を聞いて、「今、〇〇君が言ったように・・・」とか、「こうしたらどうか。」という相手の発言を受け入れた発言や折り合いをつける姿も見られるようになった。

4年生は、学級内での話し合い活動において、多くの児童が自分の考えを理由をつけて発言することができる。しかし、何かを集団で決める時など、自分の思いが強すぎて、相手の発言をしっかりと聞いていないことや、発言からさらに発展させて話し合いを進めていくことができにくい。友だちの発言のよさを、なかなか受け止められないところがある。また、十分に練り合うことをせずに、すぐに多数決で決めてしまいがちである。話し合いの際には、司会・黒板・記録等の係を交代で行っているが、マニュアルに沿って話し合いを進めることはできるが、練り合う場面では、その場に応じた進め方をすることが難しい。

5年生は、広報図書委員会、保健美化委員会の委員長を任せられ、各委員会においては、話し合いを進める立場にある。また、学級内での話し合い活動では、自分の考えを積極的に発言している。しかし、人数が少ないので、話し合いが深まりにくく、だんだんと同じ意見になっていくことが多い。話し合いの際には、司会・黒板・記録の係は交代で行っている。マニュアルに沿って話し合いをスムーズに進めることができるが、意見を深める練り合いになった時にどのように話を進めていくかという体験は乏しい。

（2）選定の理由

毎年、卒業式前に行われる「6年生を送る会」では、6年生に感謝の気持ちを伝えたり、思い出の1つとして一緒に楽しい時間を共に過ごしたりしている。児童自らが楽しく充実した学校生活をつかっていくために「6年生を送る会」と連動させて学級活動を行うこととした。この活動は、学習指導要領特別活動「学級活動」の〔共通項目〕「(1)学級や学校の生活づくり」の「ウ 学校における多様な集団の生活の向上」にあたる。

児童は、各学級の一員であると同時に、学校の一員でもある。学校・学級の一員として、生活の向上を目指して発達段階に即した役割を果たす活動をすることで、望ましい人間関係を築く態度を形成

したり、所属観を深め、社会性や公共の精神などを培ったりすることは重要なことだと考える。本校における例年の「6年生を送る会」では、5年生のみで計画を練り、ゲームをしたりプレゼントを渡したりして楽しい時間を過ごしている。しかし、今年度は、次の高学年である4・5年生全員で「6年生を送る会実行委員会」を立ち上げ、学年を超えて集会活動の実施に向けて計画を企画するところから進めることにした。それは、学校・学級の一員として、4年生・5年生が自分たちの考えをしっかりと反映させ充実感を持つことができる内容にするとともに、6年生を中心として全校児童のことも考えた内容にする必要がある。この様な自分たちのことも他者のことも共に大切に考え、意見を調整したり、深めたりする体験を異学年で力を合わせて充実させることで、最高学年になる役割を自覚し、望ましい人間関係を築く態度を形成したり、所属観を深めたりすることにもつながると考え、議題を選定した。

(3) 指導にあたって

話し合いにおいては、4年生・5年生が6年生を送る会の「めあて」に沿った、よりよい内容になっていくように、議題カードを事前に配付して、自分の考えを書かせて、話し合いに参加できるように準備させる。それは、児童が自信を持って自分の考えを友だちに伝えるようにさせるとともに、自分の思いを押し通すばかりでなく、友だちの意見の良いところを取り入れることで自分の考えが変わったり、新たな考えを創造したり、折衷案を考えたりできるように友だちの良さを実感させたいからである。なお、他者の意見を尊重しながら発言できるように、話形も準備して示しながら指導することとする。

司会グループについては、進行マニュアルを作成させ、それに基づいてスムーズな進行ができるようにする。話し合いの練り合いの場面では、「めあて」を意識させ、常に「めあて」に立ち返るように、指導者が助言する。黒板・書記には、後から黒板を見れば、発言の趣旨や根拠が分かるようにキーワード化して書かせていきたい。さらに、発言内容を要約できるようにするための板書計画を事前に考えさせたい。最後に、話し合いの振り返り場面では「今日のきりり」カードという振り返りカードを作成し、そのカードに記入させることで友だちの良いところに気付かせたり、自己肯定感を向上させたりしたい。これらの工夫を通して、6年生はもちろんのこと、在校生のみんなも楽しく過ごすことができ、4年生・5年生がやってよかったという充実感・達成感を味わわせたい。

4 研究内容との関連

○研究仮説

仮説1 学校行事において、目標や評価、児童に任せる場の設定などの指導方法を工夫し、やり切らせれば、達成感や成就感を味わうことができ、自主的・実践的な意欲へとつながるであろう。

仮説2 よりよい学校・学級をつくっていくための話し合い活動を継続することにより、児童が前向きに行動しようとする意欲を育てることができるであろう。

○思いや願いを実現するための視点

①話し合い活動において、友だちの意見を受け入れながら、自分の意見を積極的に述べさせるための工夫。(姿)

手だて：議題カードを事前に配付し、自分の考えを持って話し合いに参加させることで、自信を持って自分の考えを友だちに伝えることができる。

②より良い方法を友だちと話し合いながら見つけさせるための工夫。(姿)

手だて：友だちの意見を聞いて、考えが変わったり、折衷案を考えたりした場合は、そのことが分かるような言い方をさせる。事前に、話型を示すことで、どのような言い方ができるのかを知り、使うことができる。

③自己肯定感を向上させるための工夫。(振り返りカード、生活アンケート)

手だて：話合いの発言や司会グループの活動、練習や本番等、よかったことやがんばったこと等を児童相互で評価し、伝え合ったり、指導者が評価したりすることで、自己肯定感を高めることができる。

④学校行事に意欲的に参加させるための工夫。(振り返りカード、生活アンケート、作文)

手だて：6年生を送る会での各自の役割を持たせたり、みんなのことを考えて準備させたりすることで、常に目標に向かって頑張ろうとする意欲を持つことができる。

5 評価規準 (話合い活動) ○全員 ☆司会グループ (司会：5年, 書記：4年)

	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
中学年	○考えてきた意見をもとに、話合いに意欲的に参加しようとしている。① ☆自分たちで協力して話合いを進めようとしている。③	○友だちの意見と自分の考えを比べ、お互いの思いを受け止め合いながら、6年生を送る会のめあてに沿って考え、話し合っている。⑤ ☆考えの根拠が分かるように、記録している。⑦	○集団決定の仕方を理解している。(折り合いをつける)⑨ ☆自分の役割について理解している。⑩
高学年	○6年生を送る会のめあてに沿って、よりよい内容にしようとして意欲的に参加しようとしている。② ☆話合いを円滑に進めるための自分の役割を自覚し、協力して取り組んでいる。④	○話合いのめあてや6年生を送る会のめあてを意識しながら、相手の意見も尊重して考えている。⑥ ☆話合いのめあてや6年生を送る会のめあてに沿って進んでいるかを考えながら、話合いを進めている。⑧	○集団決定の仕方を理解している。(折り合いをつける)⑨ ☆自分の役割について理解している。⑩

6 事前の活動

日時	児童の活動 (☆4・5年全員 □司会グループ)	○指導上の留意点 ◎評価
1月24日(金) 大休憩	☆6年生を送る会に向けて計画を立てる。 □役割分担を行う。 □議題カードを作成する。	○6年生を送る会の意義を理解させる。 ○いつ、何をするのか、見通しを持たせる。 ◎6年生を送る会の意義を理解している。
1月28日(火) 昼休憩	□議題の提案、議題カードの配付する。 ☆各学級で、議題カードに自分の考えを記入する。	○議題カードに自分の考えを書かせる。 ・めあて ・内容 ◎理由をつけてめあてや内容を考えている。
1月31日(金) 大休憩	□議題カードを回収する。	○めあてや内容を短冊に書き、掲示できるようにさせる。
2月6日(木) 昼休憩	□進行メモを作成する。 □板書計画を作成する。 □議題カードを返却する。	○進行の手順、内容、時間配分、板書計画について確認する。
2月7日(金) 2校時	☆第1回実行委員会を開催する	○めあてと内容を決定し、係分担をさせる。 ◎6年生を送る会にふさわしいめあてや内容を話合いで決定している。
2月17日(月)	☆この日までに担当者が原案の作成を完成させる。	○担当者に詳しい内容を考えさせる。模造紙等を使って、可視化して、みんなが分かりやすいようにさせる。 ○当日までに、それぞれの内容を把握し、自分の考えを持たせておく。 ◎めあてに沿って詳しい内容を考えている。

2月18日(火)	□進行メモを作成する。 □板書計画を作成する。	○進行の手順、内容、時間配分、板書計画について確認する。
----------	----------------------------	------------------------------

7 本時の展開

(1) 本時の目標

4年：6年生を送る会のめあてに沿って、自分の考えと比べながら友だちの発表を聴いたり、理由を明確にして自分の意見を言ったりして、話し合うことができる。

5年：6年生を送る会のめあてに沿って、それぞれの意見のよさを生かしたり、自分の言葉で建設的な意見を述べたりしながら、話し合うことができる。

(2) 本時の人権教育の視点

目指す学級活動の授業像

①自分の考えをもち、②仲間と交流して、③合意形成し、④学級集団の高まりを喜び合う授業・学級

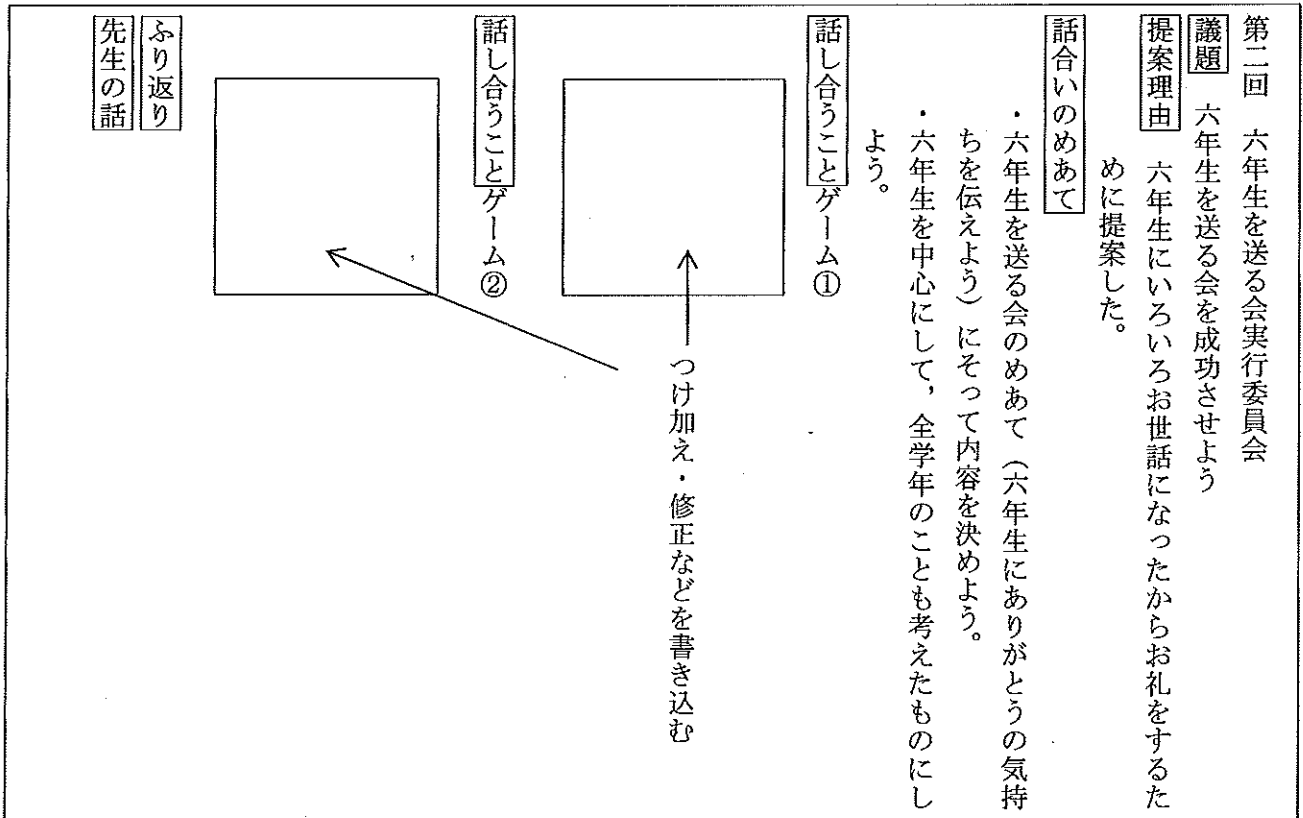
人権教育の視点	児童の姿	工夫・手立て
自分を大切に する	①【自分の考えをもっている】 「6年生へ『ありがとう』の気持ちを伝えるために〇〇をしたいな。」 「〇〇したら、6年生が□□を感じてくれるので、□□したらよいと思うよ。」	・事前に各担当が話し合っている時に、めあてに沿った内容になっているかどうか声かけをする。 ・事前に各担当から提案しておくことで、それについて自分の考えを持たせ自信をもって発表できるようにする。 ・常に6年生を送る会のめあてを考えた発言ができるように声かけをする。
	①【自分の考えをもっている】 [同会者]「話し合いのめあてや6年生を送る会のめあてに沿って話し合いを進めるぞ」 [記録者]「つけ加わったところは赤で、理由は緑で書くことにしよう。」	・話し合いの進め方ガイドをもたせる。 ・改善点や根拠が分かるように色分けをさせる。
	④【学級集団の高まりを喜び合っている】 「みんなで話し合って納得できてよかったな。」 「自分の意見を聞いてくれて学級の意見ができたぞ。」	・「今日のきりり」の視点を「実行委員会カード」に明記しておく。 ・児童から出なかったものを指導者が評価する。
	②【仲間と交流している】 [話し手]「箇条書きにしたり、図で説明したりして、相手にわかりやすく伝えよう。」 「友だちに伝わったかな？」 [聞き手]「友だちの考えを参考にしたいな。」 「友だちの考えをもう少し詳しく知りたいな。」	・箇条書き、図、色など、分かりやすいかき方を指導する。【事前】 ・発表の仕方を指導する。 (参照 12 使わせたい言語事項) ・最後まで発表を聴かせる。 ・わかりにくいところについて「ありがとう」の気持ちを伝えられるか、根拠は何かの視点で質問させる。
他者を大切に する	②【仲間と交流している】 [同会者]「〇〇さんの意見について、その方法は『ありがとう』と伝えられると思いますか。」 「〇〇さんの意見を、より『ありがとう』と伝えられるものにするためにアドバイスがありませんか。」 [記録者]「みんなにわかるように、つけ加わったところは赤で、理由は緑で書くことにしよう。」	・話し合いの進め方ガイドをもたせる。 ・「めあてに沿っているか」の視点で協議できるよう、話し合いの方向を修正する声かけを行わせる。 ・練り合う場面を見逃さずに、「今の発言について他の人はどう思いますか。」と問いかけるように指示を出す。 ・改善点や根拠が分かるように色分けをさせる。
	③【合意形成をしている】 「友だちの考えと自分の考えは違って面白いな。」 「友だちの考えと自分の考えは同じで面白いな。」 「友だちの考えは『ありがとう』を伝えられるな」 「友だちの考えと自分の考えを合わせると□□だな。」 「みんなの考えを整理して、これで進めていこう！」	・意見がまとまらないときは、ペアで話し合わせる。 ・共通点、相違点を整理させ、場合によっては折衷案を考えさせる。 ・まずはゲームの内容について話し合う。 ・話し合いでみんなの意見がまとまればよいが、十分議論しても決まらなかった場合は多数決によって決定させる。

	<p>④【学級集団の高まりを喜び合っている】 『きらり』『みんなで考えたから、『ありがとう』 が伝わる□□という良いアイデアが決まって良 かったな。』</p>	<p>・「今日のきらり」の視点を「実行委員会カード」に明 記しておく。 ・児童から出なかったものを指導者が評価する。</p>
--	---	--

(3) 展開

	学習活動	指導上の留意事項	評価規準と評価方法
導入	<p>1 はじめの言葉 2 議題の確認 3 提案理由・話し合いのめ あての確認</p>	<p>○指導者の役割分担を明確にし、児童に助言を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">6年生を送る会を成功させよう。</div> <p>○提案理由や話し合いのめあてについて、板書で確認させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・6年生を送る会のめあて（6年生に「ありがとう」の気持ちを伝えよう） にそって内容を決めよう。</p> <p>・6年生を中心にして、全学年のことも考えたものにしよう。</p> </div>	
展開	<p>4 話し合い ①ゲーム担当から内 容について発表(3) ②意見交流(10) ③最終決定(2)</p> <p>※ゲームが2つあるので 1つずつ話し合う。</p>	<p>○司会は、できるだけみんなの顔を見ながら言うようにさせる。 ○板書担当は、各担当が用意した画用紙に追加や変更等を簡単に書くようにさせる。 ○意見交流では、友だちの意見を肯定的に受け入れながら発言ができるようにさせる。 ○結論先行で、根拠を明確にして発言させる。 ○意見交流をして、なかなか意見がまとまらないときは、ペアで話し合わせる。 ○折衷案を考えさせる場合もありうる。 ○できるだけ話し合いでみんなの意見がまとまればよいが、十分議論しても決まらなかった場合は多数決によって決定させる。 ○ノート書記には、話し合いで決まったことを記録させる。</p>	<p>【話し合い活動】 [全員] ⑤⑥（行動観察） [司会グループ] ⑦⑧（行動観察）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【人権教育の視点】 自分を大切に①</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【人権教育の視点】 他者を大切に②③</p> </div>
まとめ	<p>5 話し合いの振り返り (個人)</p> <p>6 話し合いの振り返り (司会)</p> <p>7 先生の話</p> <p>8 終わりの言葉</p>	<p>○個人の振り返りで、「今日のきらり」として、話し合いの深まりにつながる友だちのよさを見つけ発表するとともに、発表を聴き合うことで学級の中での自分の役割を果たせた喜び、学級の高まりの喜びを共有する。</p> <p>○司会者には、話し合いでよかった発言を取り上げて、まとめをさせる。</p> <p>○話し合いのよかった点を具体的に評価する。児童の書いた「今日のきらり」をとりあげる場合もある。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【人権教育の視点】 自分を大切に④</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【人権教育の視点】 他者を大切に④</p> </div>

8 板書計画



9 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
2月20日 4校時	・残りの内容について話し合う。		
2月下旬～ 3月4日	・決まったことをもとに、各担当で準備を進める。 ・早く終わったところは他の担当を手伝う。	○話し合いで決定したことも、準備を進めていく内に変更した方がいいと判断した場合は、他の実行委員にその旨を伝えさせ、全員が内容を把握しておくようにさせる。 ○決まったことは、校内に随時掲示して全校児童に知らせ、6年生を送る会に向けての意欲を高める。	【思考・判断・実践】 ・児童会の一員として自分の役割を果たしている。(行動観察・カード・作文)
3月 5日	・リハーサルをする。	○本番での動きを確認させる。	
3月6日当日	・各担当の責任を果たすとともに、会が成功するように、みんな協力する。 ・カードで振り返りをするとともに、作文で表す。	○みんなで準備してきたことがしっかり出せるように助言する。 ○各自の責任を果たしたこと、みんなで頑張ったことを評価する。	
事後			

10 設定した言語活動「話し合い」を通して育てたい力

- 友だちの意見と自分の考えを比較し、共通点と相違点を整理する思考力
- 6年生を送る会のめあてに沿って話し合った内容を比較し、内容を決定する判断力
- 自分の意見を発言するときは、結論先行で根拠を明確にした発言ができる表現力
- 他の意見を肯定的に受け止めた発言をすることができる態度

11 【使わせたい言語事項】

「わたしは・・・と思います。わけは・・・だからです。」

「わたしは・・・という意見に賛成（反対）です。わけは・・・だからです。」

「〇〇さんの意見につけ加えます。」

「〇〇さんの◇◇という意見と、●●さんの◆◆という意見をあわせて・・・というのはどうですか。わけは・・・だからです。」

「〇〇さんの・・・という意見を聞いて、わたしは・・・と思いました。」

「〇〇さんの・・・というのはいいと思います。でも、◇◇ではなく◆◆にしたら、もっと6年生が喜んでくれる（6年生にありがとう気持ちが伝わる）と思います。」

= 6年生を送る会実行委員会カード =

年 ()

議題
提案理由

6年生を送る会のめあて

今日の話合いのめあて

内 容	質 問 や 意 見

～今日のふりかえり～

OK← →残念

- | | | | | | |
|--------------------------------------|---|---|---|---|---|
| ① 自分の考えを持つことができた。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 自分の考えを発表することができた。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 友だちの考えや、相手の思いを分かろうとしながら聞くことができた。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 「自分もよくてみんなもよい」解決方法を考えて、発表することができた。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ めあてを達成できた。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 今日の きらり は | | | | | |

	理由
--	----

☆きらりポイント

- 自分の意見をおし通すのではなく、折り合いをつけていた。
- 聴く人をなっとくさせるような理由を言っていた。
- めあてにそって、話し合いを進めていた。

話し合いをふりかえって

